

平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野スポーツ振興事業団						
①	指標名	スポーツ教室参加率			目標値	90.5%	実績値	95.6%
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	105.6%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位:%)	97.8	90.5	87.6				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①参加者の増加を図るため、市報、ホームページ、情報誌への掲載、チラシの配布等により積極的にPRに努めた。 ②小・中学生向けの教室については、チラシを作成し、小・中学校を通して全児童、生徒に配布し、参加者の増加に努めた。 ③大人向けの教室については、終了後、アンケート調査を実施し、その結果を事業運営に生かすことで、市民満足の向上に努めた。 このようなPRや周知に努めた結果と、特にヨガやエアロビクスの教室の人気の高まりにより、平成17年度は高い実績を残した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○スポーツ教室全体としては目標値を達成したが、参加率のかなり低い教室もある。今後もPRに努め、参加者の増加を図るとともに、教室の見直しについても検討していきたい。							
二次評価	●スポーツ教室の定員に対する参加者の割合を指標に設定している。武道系のスポーツ教室の参加率は例年苦戦をしているが、ヨガやエアロビクスの教室の人気の高まりにより、17年度は目標を達成している。 ●小・中学生に対して積極的にPRをしていること、教室の参加者に対してアンケート調査を実施し、その結果を事業運営に活かしていることなど、努力を続けている。 ●公共のスポーツ施設のミッションとして、人気のある教室だけを実施していけば良いというものではないため、この指標の設定が適切かどうか検討する必要がある。							
②	指標名	ワンデーレッスン参加者数			目標値	32,500人	実績値	34,823人
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	107.1%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位:人)	30,508	31,873	30,971				
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①スポーツ振興の観点から、幅広く市民が参加できる種目を実施し、市民のニーズに対応してきた。 ②事業団の広報誌等でPRし、参加者の増加に努めた。 このようなPRや広報に努めた結果と、特にヨガやエアロビクスの人気の高まりによる参加者の大幅な増加もあり、平成17年度は高い実績を残した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○今後も市民ニーズに対応して、参加者増を図っていくため、PRに努めると共に要望の高い種目の拡大を図りたい。							
二次評価	●ワンデーレッスンは、事前の申し込みが必要なく、当日、個人使用券を購入するだけで参加できる人気のスポーツ教室である。「のんびりヨガ」「きままなエアロ」等を中心に参加者数が大幅に伸びており、17年度は目標を達成している。 ●17年度には9種類の教室を合計765回開催し、16年度の10教室合計759回の開催から6回分増やしており、参加者は3,852人と大幅に増えている。 ●17年度からは指定管理者として施設の管理を行っていることもあり、事業についても今まで以上にさまざまな工夫を行っていく必要がある。							
③	指標名	市民向け事業実施回数			目標値	53回	実績値	55回
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	103.8%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位:回)	58	46	51				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ウインタースポーツやキャンプカウンセラーの育成を充実した。 ②事業実施後、アンケートを実施し、結果を事業運営に生かすことで、市民満足の向上に努めた。 ③市民から要望の多かった名山登山、低登山、ウォーキング事業を増加させた。また、各事業とも内部努力により、経費を極力抑制して実施した。(黒岳・常念岳・夏の涼ハイク・清里・野辺山ウォーク・ジュニアスノーボード・八ヶ岳スノーハイク・天城山縦走)						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○当初事業のほか、新たに追加した事業は、初めて試みる事業で、事業地の変更等も行ったため、参加者には概ね好評だった。今後も参加者あつての事業であることを忘れず、安全かつ有意義な事業を展開していきたい。							
二次評価	●登山・キャンプやスノーボード等の野外活動事業については、17年度55事業を開催し、目標を達成している。 ●事業実施後にはアンケート調査を実施し、市民ニーズを事業運営に活かす等の努力をしており、延べ参加者についても16年度2,693人から17年度3,220名と大幅に増加している。 ●しかし、キャンプカウンセラー講習会は毎回参加者が伸びずに苦戦をしている。キャンプカウンセラーの協力のもとで安全な事業を実施していくためにも、協力者の育成には今後とも力を入れていく必要がある。							

平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野スポーツ振興事業団						
②	指標名	自主事業収入			目標値	34,408千円	実績値	36,114千円
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	105.0%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 千円)	28,816	32,314	34,794				
	取組内容	<p>※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①参加者の増加を図るため、市報・ホームページ・情報誌への掲載、チラシの配布等により積極的にPRに努めた。</p> <p>②小・中学生向けの教室については、チラシを作成し、小・中学校を通して全児童、生徒に配布し、参加者の増加に努めた。</p> <p>③大人向けの教室については、終了後、アンケート調査を実施し、その結果を事業運営に生かすことで、市民満足の向上に努めた。このような取り組みと、ヨガやエアロビクスの参加者の増加もあり、17年度は目標値を大きく上回ることができた。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>○目標値は達成できたが、今後もさらに各事業への参加率の向上を目指したい。</p>						
二次評価	<p>●スポーツ教室及び野外活動事業の参加料である自主事業収入は、毎年順調に増加してきており、17年度については前年度から3.8%の伸びを確保し、目標を達成している。</p> <p>●引き続き自主事業収入の確保の努力を続けるとともに、各事業ごとにコストを計算し、また受益者負担割合を検証するなど常に経営の視点から事業の見直しを行う必要がある。</p> <p>●公の施設の管理に指定管理者制度が導入されたことから、常に民間との競争を意識しながら事業運営にも取り組む必要がある。</p>							
③	指標名	執行体制の簡素・効率化（職員の削減）			目標値	1人減	実績値	1人減
	過去の実績	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位: 人)	23(6)	23(7)	22(9)				
	取組内容	<p>※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①市派遣職員（管理課管理係長）引き上げ後を不補充とした。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>○目標は達成したので、今後も嘱託職員等の活用により、職員定数の見直しを図り、組織の簡素化、効率化に努める。</p>						
二次評価	<p>●17年度には市からの派遣職員2名を引き上げ、固有職員を1名採用したのみで、職員1名の削減を行っており、目標を達成したと評価する。</p> <p>●また、17年度には固有職員を係長に昇格させ、責任を与えたことにより、組織の執行体制の見直しを行っている。</p> <p>●今後とも固有職員の人材育成を図り、執行体制の簡素化・効率化を継続的に計画していく必要がある。</p>							